

2019年度

広島大学大学院総合科学研究科（博士課程後期）

学生募集要項

〔外国人留学生特別選抜〕

（2019年10月入学）

2019年3月



広島大学

広島大学大学院総合科学研究科（博士課程後期） 外国人留学生特別選抜学生募集要項

2019年10月に本学大学院総合科学研究科(博士課程後期)に入学する学生を次のとおり募集します。
本研究科においては、次のような志を持つ人の入学を期待します。

- (1) 文系理系の枠組みや狭い個別分野にとらわれず新しい学問に触れ、かつ新しい知の領域を創造したいと思う人（本学理念：新たな知を創造する人）
- (2) 現実に自分が生きている複雑な社会を直視し、そこから自分で独自の課題を発見し、その背景を理解し、課題解決の道を明らかにしたいと思う人（本学理念：平和を希求する精神を育み、絶えざる自己改革を実践する人）
- (3) 国、地域、社会等の枠を超え、異文化や他者に寛容な姿勢を持ち、自分の意見を表明する能力を身に付けたいと思う人（本学理念：豊かな人間性を培い、地域社会・国際社会との共存を推進する人）

I. 募集人員

専攻名	募集人員
総合科学専攻	若干名

II. 出願資格

日本に在住しない外国人で、次の各号のいずれかに該当する者、あるいは2019年9月30日までに該当する見込みの者

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 外国の学校、4の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
7. 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者であって、24歳に達したもの

【注】出願資格6～8により出願しようとする者は、事前に総合科学研究科支援室（大学院課程担当）へ申し出た上、2019年4月1日（月）までに所定の書類を提出してください。

III. 出願手続

1. 出願方法

郵送のみによる出願とインターネット出願があります。インターネット出願にはアカウントが必要になりますので、必ず広島大学総合科学研究科支援室（大学院課程担当）に連絡してください。連絡先は5ページを参照してください。

郵送のみによる出願

出願書類を一括して書留で郵送してください。

インターネット出願

志望情報等をインターネットで送信し、別途、出願書類を書留で郵送してください。
詳細は、「インターネット出願について」（6～7ページ）をご参照ください。

出願者は、志望する指導教員に事前に了解を得た上、出願書類を一括し、下記出願期間中に提出してください。

(1) 出願期間

2019年4月22日(月)から2019年5月10日(金)まで
 なお、封筒表面に「総合科学研究科願書在中」と朱書してください。

(2) 出願書類の提出先

〒739-8521
 広島県東広島市鏡山一丁目7番1号
 広島大学総合科学研究科支援室(大学院課程担当) (Tel +81-82-424-6318)

(3) その他

- ① 出願書類受理後は、記載内容の変更は一切認めません。
- ② 出願書類は返還しません。
- ③ 合格後あるいは入学後、提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。
- ④ 修了見込みで出願して合格した者が、入学日までに修了できなかった場合、入学資格がないものとみなされます。

2. 出願書類等

(1) 郵送のみによる出願

書類の名称	摘 要
※入学志願票	交付の用紙を使用してください。
※学業成績証明書	出身大学長が作成したもの。 必ず原本か、原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。
※修士課程(博士課程前期)修了証明書又は修了見込証明書	出身大学(研究科)長が作成したもの。 必ず原本か、原本証明された写しを提出してください。原本証明のない写しは証明書として認められません。 修了者の場合、学位情報が記載されていることを確認してください。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>中国(台湾, 香港, マカオを除く)の大学を修了(見込み)の方は、中国教育部認証システム(中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)により以下の書類を取得し、併せて提出してください。(Web認証が2019年5月24日(金)時点で有効であることを確認してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了者…学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表) ・修了見込み者…オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告) <p>なお、発行手数料は志願者負担となります。 また、修了者については、修了証明書に加えて“毕业证书”及び“硕士学位证书”の本紙又は原本証明された写しを提出してください。</p> </div>
修士論文の写し	1部 日本語、英語以外の言語の場合は、日本語又は英語で作成した論文概要(書式、字数は任意)を添付してください。 修了見込みの者で修士論文を作成中の場合は、日本語(2,000字程度)又は英語(800ワード程度)で作成した論文概要(書式は任意)を提出してください。

研究計画書	交付の用紙を使用し、具体的な研究内容について日本語又は英語で作成してください。
論文業績	公表された論文 日本語、英語以外の言語の場合は、日本語又は英語で作成した論文概要（書式、字数は任意）を添付してください。
※推薦書 2 通	1. 研究機関の長によるもの 1 通 2. 出願者の研究指導者によるもの 1 通
入学検定料	30,000円 検定料の支払い方法については、2019年4月15日（月）までに総合科学研究科支援室（大学院課程担当）へお問い合わせください。 問合せ先：広島大学総合科学研究科支援室（大学院課程担当） (E-mail) souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp (電話) +81-82-424-6318 (FAX) +81-82-424-8246 その他、備考4を参照してください。

備考：1. ※印のついた提出書類については、日本語、英語以外の言語で作成されたものは、原本と英語又は日本語で訳したものの両方を提出してください。

2. TOEFL®, TOEIC®等の英語検定、又は日本語検定試験を受験した者は、その成績証明書を提出してください。

3. GRE® (Graduate Record Examinations) を受験した者は、その成績証明書を提出してください。広島大学の機関コードは2358です。

4. 次の(1)(2)に該当する場合を除いて、出願受付後は、既納の入学検定料は返還しません。(1)(2)に該当する場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面（様式は任意）に必ず「入学検定料振込証明書」等の入学検定料の振込を証明できる書類を添付の上、2020年2月28日（金）までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

(1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合

(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号
広島大学東広島地区運営支援部共通事務室 出納担当
(電話) +81-82-424-7811 (FAX) +81-82-424-6962

(2) インターネット出願

書類の名称	摘 要
※学歴・職歴	交付の用紙を使用してください。
※学業成績証明書	「(1) 郵送のみによる出願」に記載されている内容と同一です。
※修士課程（博士課程前期）修了証明書又は修了見込証明書	
修士論文の写し	
研究計画書	
論文業績	
※推薦書 2 通	

入 学 検 定 料	<p>30,000円</p> <p>詳細は「インターネット出願について」(6～7ページ)を参照してください。 その他、備考4を参照してください。</p>
-----------	--

- 備考：1. ※印のついた提出書類については、日本語、英語以外の言語で作成されたものは、原本と英語又は日本語で訳したものの両方を提出してください。
2. TOEFL®, TOEIC®等の英語検定、又は日本語検定試験を受験した者は、その成績証明書を提出してください。
3. GRE® (Graduate Record Examinations) を受験した者は、その成績証明書を提出してください。広島大学の機関コードは2358です。
4. 次の(1)(2)に該当する場合を除いて、出願受付後は、既納の入学検定料は返還しません。(1)(2)に該当する場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面(様式は任意)に必ず入学検定料の振込を証明できる書類を添付の上、2020年2月28日(金)までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。

- (1) 出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合
(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

送付先：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号
 広島大学東広島地区運営支援部共通事務室 出納担当
 (電話) +81-82-424-7811 (FAX) +81-82-424-6962

3. 修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等で、修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書(様式は定めません。)を提出してください。

ア. 相談の時期

2019年4月1日(月)まで

イ. 申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所(連絡先電話番号も記載してください。)
- ② 出身大学名及び志望する指導教員名
- ③ 障害等の種類・程度(障害者手帳の写し又は医師の診断書を添付してください。)
- ④ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑤ 出身大学等でとられていた特別措置
- ⑥ 日常生活の状況

IV. 選抜の方法等

成績証明書、研究計画書等の提出書類を審査し、総合評価して選考します。インターネット等を利用した面接を実施することがあります。面接の詳細については、個別に連絡します。

合格発表は、2019年6月21日(金)に行い、合格者に通知します。電話等による照会には応じません。また、下記総合科学研究科ホームページにおいても、2019年6月21日(金)12時から6月27日(木)12時まで合格者の発表を行います。(https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka)

V. 入学に要する経費

入学料 282,000円
 授業料(1期分) 267,900円
 授業料(年額) 535,800円

- ① 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ② 上記記載の金額は2018年4月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた

場合には、改定後の納付金を納入することになります。

- ③ 2019年9月中旬の指定する期間に入学手続を行うこととなりますが、詳細については別途お知らせします。
- ④ 入学料、授業料とも経済的理由により納付が困難な者でかつ学業成績優秀な者又は特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。また、入学料徴収猶予の制度があります。

VI. 出願に伴う個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（奨学金申請、授業料免除申請等）業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

VII. 試験成績（個人情報）の開示・申請

研究科が保有する個人に関する入試情報の開示は、総合科学研究科の入学試験を受験した本人に限り申請することができます。

なお、開示申請の方法については、総合科学研究科ホームページをご覧ください。

試験成績（個人情報）の開示・申請ホームページアドレス

https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/admission/g_admission/g_kaiji

VIII. 学生宿舎

学生宿舎の入居者募集については、学生宿舎ホームページをご覧ください。

学生宿舎ホームページアドレス

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/shien/jyuukyo>

学生宿舎についての問合せ先

広島大学教育室教育部学生生活支援グループ（Tel +81-82-424-5794）

IX. 注意事項

1. **志願者は、担当教員一覧表又は本研究科ホームページを参照し、応募する前に希望する担当教員にE-Mailか電話その他で連絡の上、希望研究内容等について相談してください。**ただし、事前相談はあくまでも本研究科からの情報提供という性格のものであり、これが選考過程に影響することはありません。

所属部門別教員連絡先一覧ホームページアドレス

https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/research/kyouin_list/g_list

2. 受験について不明な点があれば、下記照会先へ問い合わせてください。

<照会先>

〒739-8521

広島県東広島市鏡山一丁目7番1号

広島大学総合科学研究科支援室（大学院課程担当）

TEL +81-82-424-6318

URL <https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka/access>

E-mail souka-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp

インターネット出願の流れ

(1) インターネット出願トップページへアクセス

インターネット出願のページは、広島大学入試情報のホームページからアクセスできます。

広島大学入試情報
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi>



(2) 志望情報を入力

志望する入試区分、研究科、専攻等を選択してください。

(3) 個人情報を入力

氏名、連絡先等を画面の案内に従って入力してください。

(4) 出願内容の確認

入力した志望情報と個人情報について、確認してください。

(5) 必要書類の確認

出願の内容に応じた必要書類が表示されるので、確認し、準備してください。

また、デジタル写真(※)のアップロードが可能です。画面の説明に従ってアップロードしたデジタル写真を証明写真の構図に編集した後、インターネットで提出できます。

(※) 上半身、脱帽、正面向きで最近3か月以内にカラー又は白黒で撮影したデジタル写真が必要です。

(6) 決済情報を入力

支払方法を次のいずれかから選択し、入力してください。

日本国外からは、クレジットカード決済のみ利用できます。

クレジットカード (VISA・MasterCard・JCB・AMERICAN EXPRESS・Diners Club)

(7) 出願登録の完了(まだ出願受付は完了していません)

出願番号(受験番号ではありません)が発行されるので、メモするか、画面を印刷してください。

出願番号は、後で出願情報を確認する際と、出願書類を郵送する際に必要です。

〈 注 意 〉

出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。出願期間内に到着するように、**書留郵便**(又はEMS: Express Mail Service etc.)で必要な書類を郵送する必要があります。

(8) 出願書類の郵送

日本国外から出願する場合は、EMS: Express Mail Service等の最速の国際郵便で郵送してください。EMS等の宛名ラベルに、志願者氏名の次に**出願番号**をカッコ書きで記載してください(下図参照)。

Tel no.		Tel no.	082-424-
From	☆☆ ☆☆ (***)	To	広島大学総合科学研究科支援室(大学院課程担当)
Address	1-2-3 ◇◇町□□市●●国	Address	〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1

(9) 入学検定料の支払

「(6) 決済情報を入力」で選択・入力した支払方法により、支払手続を行ってください。詳しい支払方法については、出願登録完了後の「支払方法」ページにより確認してください。一度支払われた入学検定料は返還しません。ただし、本学生募集要項 4 ページの入学検定料欄「注意事項」に該当する場合は、その記載内容に従ってください。

入学検定料の他に、入学検定料支払手数料として 500 円が必要です。

日本国外からは、クレジットカード決済のみ利用できます。

クレジットカード決済

出願登録完了と同時に決済が行われます。

右のロゴマークがあるクレジットカードで支払うことができます。

出願前にクレジットカードを準備してください。

なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。

支払方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

名称	ロゴマーク
VISA	
MasterCard	
JCB	
AMERICAN EXPRESS	
Diners Club	

以上でインターネット出願は完了です

※ インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先に問い合わせてください

インターネット出願ヘルプデスク	受付時間 10:00-18:00
	問合せ受付期間 2019年4月22日から5月10日まで (土日祝日を除く)
	TEL 050-3786-5124

※ その他、出願手続に関する不明点等は、広島大学総合科学研究科（連絡先：5 ページ参照）に問い合わせてください。（土日祝日、夏季（8月14日から8月18日）及び年末年始（12月29日から1月3日）を除く）

総合科学研究科の概要

1. 本研究科は、広島大学総合科学部を基盤として、平成18年4月に設立された。本研究科は「総合科学」にもとづく教育と研究を展開する大学院である。「総合科学」は、21世紀の人類社会が直面する複合的課題に取り組むため、個々の専門分野を深化させるとともに、その融合・協同をつうじて未到の知の地平を開拓する科学の方法である。本研究科教育課程は、自己の専門分野を「重点的」に研究して専門的な知識・技能を高めるだけでなく、学際性・総合性・創造性に秀でた「総合科学」の知的技法を身に付け、その成果を、学際的・総合的な観点から客観的に評価しうるジェネラリスト（「重点的ジェネラリスト」と呼ぶ）の養成をめざす。
2. 本研究科は、専門分野を超えた学際的・総合的な学問研究を行うため、「総合科学専攻」の1専攻からなり、「人間科学部門」、「環境科学部門」、「文明科学部門」及び「21世紀科学プロジェクト群」の3部門1群で構成されている積み上げ方式の博士課程で、標準修業年限を前期2年、後期3年とする。

総合科学専攻

- 1) 人間科学部門：人間そのものの本質と普遍性を学際的・総合的に理解するために、生命・脳科学、心理学、スポーツ科学、言語学、哲学・倫理学、美学・芸術学などの自然科学的・人文科学的手法を駆使し、「人間とは何か」という課題を追求する。
 - 2) 環境科学部門：自然、社会、物質、情報、生活など、広義の環境を学際的・総合的に理解するために、環境の形成過程の分析とその多角的評価を行い、それを通じて現代社会が抱える複合的リスクを検証し、「環境と人間の共生はいかにあるべきか」の課題を追求する。
 - 3) 文明科学部門：歴史と地域性を背景として「衝突」と「対話」を繰り返す文明の動態を学際的・総合的に理解するために、文明・文化の通時的・共時的諸相を総合科学の手法を用いて解明し、「知的財産をいかに伝えるべきか」という課題を追求する。
 - 4) 21世紀科学プロジェクト群：21世紀の人類社会が直面する複合的課題を具体的に発見・設定し、学際的・総合的にその解決をめざす研究群。到達目標を共有する研究者・学生から編成する。プロジェクトには、「言語と情報研究」、「文明と自然研究」、「リスク研究」、「資源エネルギー研究」、「要素－システム研究」、「ヒロシマの形成」、「環境平和学」及び「ヒロシマ韓国学」がある。
3. 本研究科の教育課程は、部門・領域・分野を超えた共通コア科目とプロジェクト群により、学際的・総合的な修学ができるように編成されている。入学後、学生は、3部門1群のいずれかを重点的な専門教育単位として選択する。プロジェクト群を選択した学生も、学位を取得することができる。
 4. 本研究科の学生は、所属部門・所属プロジェクトにかかわらず、「文理融合型リサーチマネージャー養成プログラム」に参加し、研修プログラム等に参加することができる。
 5. 本研究科は、社会人や他分野の修了者に対して、博士課程前期・後期いずれの教育課程も、広く門戸を開放する。また、社会人入学者に対して、履修上の特例措置を講ずる。
 6. 本研究科の博士課程前期の修了者には修士（学術）の、博士課程後期の修了者には博士（学術）の学位が授与される。

総合科学研究科教員一覧表

人間科学部門

2019年3月1日現在（2019年3月退職予定者を除く。）

領域	分野	担当教員	
生命科学研究	生命科学	教授 石田 敦彦 ○教授 山崎 岳	○准教授 根平 達夫 ○准教授 彦坂 暁
	脳科学	○教授 浮穴 和義 ○教授 斎藤 祐見子 ○教授 古川 康雄	○准教授 佐藤 明子
人間行動研究	認知行動科学	教授 坂田 省吾	准教授 有賀 敦紀 准教授 小川 景子
	人間行動学	教授 岩永 誠 教授 坂田 桐子 教授 林 光緒	准教授 杉浦 義典 准教授 小宮 あすか
身体運動科学研究	身体運動科学	教授 関矢 寛史 教授 長谷川 博 教授 船瀬 広三 教授 和田 正信	准教授 上泉 康樹 准教授 進矢 正宏 准教授 田中 亮 准教授 緒形 ひとみ（予定）
言語研究	言語科学	教授 井口 容子 教授 井上 永幸 教授 岩崎 克己 教授 柴田 美紀 *教授 吉田 光演	准教授 石川 雅隆 准教授 大嶋 広美 准教授 Clenton, Jon 准教授 Taferner, Robert Horst 准教授 町田 章 准教授 山根 典子
人間存在研究	人間存在論	教授 青木 孝夫 教授 桑島 秀樹	准教授 眞嶋 俊造 准教授 宮園 健吾 准教授 Grajdian, Maria Mihaela 准教授 Rigsby, Curtis Andrew 准教授 辻 輝之（予定）

（注）*印の教員は、2020年3月退職予定者です。

○印の教員は、2019年4月から統合生命科学研究所担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

総合科学研究科教員一覧表

環境科学部門

2019年3月1日現在 (2019年3月退職予定者を除く。)

領域	分野	担当教員	
自然環境研究	環境生態学	○教授 奥田 敏 統 ○教授 久我 ゆかり ○教授 山田 俊 弘	○准教授 土谷 彰 男
	地球表層環境科学	教授 小野寺 真 一 教授 海堀 正 博	○准教授 ウィルメーグ 真澄美 准教授 小澤 久 准教授 並木 敦子 准教授 横山 正治 准教授 長谷川 祐治
総合物理研究	複雑系物理学	教授 乾 雅 祝 教授 戸田 昭 彦	准教授 田口 健 准教授 田中 晋平 准教授 宗尻 修治
	相関係物理学	教授 石坂 智 教授 浴野 稔 一 教授 荻田 典 男 教授 畠中 憲 之 二 教授 東谷 誠 二	
情報システム 環境研究	情報システム 環境学	教授 相原 玲 二 教授 稲垣 知 宏 教授 西村 浩 二	准教授 児玉 明 准教授 近堂 徹 准教授 隅谷 孝洋 講師 岩沢 和 男
社会環境研究	地域環境論	教授 浅野 敏 久 教授 Funck, Carolin E.H	准教授 匹田 篤 准教授 福田 恵 講師 張 慶 在
	現代社会論	教授 材木 和 雄	准教授 李 東 碩 准教授 河本 尚 枝 准教授 佐々木 宏 准教授 山崎 修 嗣 准教授 白川 俊 之 准教授 園井 ゆ り

(注) ○印の教員は、2019年4月から統合生命科学研究所担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

文明科学部門

領域	分野	担当教員	
文明史基礎研究	文明史文化史研究	教授 市川 浩 教授 辻 学 教授 吉村 慎太郎	准教授 杉木 恒彦 准教授 三村 太郎
	文化人類学	教授 高谷 紀 夫	准教授 長坂 格
	社会文化研究	教授 青木 利 夫 教授 平手 友 彦	准教授 Schlarb, Hans-Michael 准教授 武田 紀 子
地域研究	広域アジア研究	教授 荒見 泰 史 教授 布川 弘 教授 丸田 孝 志 教授 水羽 信 男	准教授 崔 真 碩 准教授 柳 瀬 善 治 准教授 李 郁 恵 准教授 渡 邊 誠
	広域ヨーロッパ研究	教授 長田 浩 彰	講師 河合 信 晴
	英米研究		准教授 城戸 光 世 准教授 薩摩 真 介 准教授 的場 いづみ 准教授 春日 あゆか

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

総合科学研究プロジェクト

2019年3月1日現在(2019年3月退職予定者を除く。)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	言語と情報研究 (代表者: ◎町田 章)	
研究課題	言語と情報・数理の領域横断分析及び総合科学的研究	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	*教授 吉田 光 演	理論言語学 (統語論・意味論研究)
	教授 井上 永 幸	英語学 (コーパス言語学研究)
	教授 岩 崎 克 己	ドイツ語学・CALL (インターネットと外国語教育研究)
	准教授 大 嶋 広 美	中国語学 (中国語の音声研究)
	准教授 町 田 章	認知言語学 (言語の認知的研究)
	教授 柴 田 美 紀	第二言語習得 (◎全体総括, 第二言語習得研究)
	准教授 Clenton, Jon	応用言語学 (第二言語習得研究)
	准教授 Taferner, Robert Horst	言語習得 (言語習得研究)
	准教授 山 根 典 子	音声学・音韻論 (英語・日本語の音声研究)
	准教授 宮 園 健 吾	分析哲学 (言語の哲学的分析)
環境科学部門	准教授 匹 田 篤	社会情報学 (公共空間における情報の表現・解釈の研究)
	准教授 河 本 尚 枝	留学生教育 (留学生への言語教育)
文明科学部門	教授 荒 見 泰 史	中国文学・敦煌学 (中国語教育教材開発)
	教授 平 手 友 彦	フランス文学 (出版メディアの歴史的研究)
	准教授 李 郁 恵	日本語文学, 中国語圏の文化 (中国語教授法)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	文明と自然研究 (代表者: ◎浅野 敏久)	
研究課題	サステナビリティ再考	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	*教授 吉田 光 演	言語学 (人間科学の視点からの示唆・助言)
環境科学部門	○教授 奥 田 敏 統	生態学 (生物多様性・生物資源とサステナビリティ)
	教授 海 堀 正 博	砂防学 (砂防学からみた中山間地のサステナビリティ)
	教授 浅 野 敏 久	人文地理学 (◎全体総括, 地域開発とサステナビリティ)
	教授 小野寺 真 一	水文地形学 (水循環と水資源)
	教授 Funck, Carolin E.H.	人文地理学 (サステナブル・ツーリズム)
	准教授 小 澤 久	気候学 (環境変動の理論的解析)
	准教授 河 本 尚 枝	社会学 (多文化・民族とサステナビリティ)
	准教授 匹 田 篤	情報学 (社会情報・メディアとサステナビリティ)
	准教授 福 田 恵	環境社会学 (山村のサステナビリティ)
	講 師 張 慶 在	観光学 (サステナブルな観光・まちづくり)
文明科学部門	教授 布 川 弘	日本史学 (平和とサステナビリティ)
	教授 高 谷 紀 夫	文化人類学 (多文化・民族とサステナビリティ)
	教授 荒 見 泰 史	中国文化学 (文化遺産 (史料) とサステナビリティ)
	教授 水 羽 信 男	中国近現代史 (アジアの環境とサステナビリティ)
	准教授 長 坂 格	文化人類学 (多文化・民族とサステナビリティ)
	准教授 杉 木 恒 彦	比較宗教学 (宗教と自然)
	准教授 李 郁 恵	中国文学 (ポストコロニアル文学)
	准教授 春 日 あゆか	イギリス環境史 (都市環境の歴史とサステナビリティ)
准教授 柳 瀬 善 治	日本近代文学 (文学とサステナビリティ)	

(注) *印の教員は、2020年3月退職予定者です。

○印の教員は、2019年4月から統合生命科学研究所担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

総合科学研究プロジェクト

2019年3月1日現在(2019年3月退職予定者を除く。)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	リスク研究 (代表者: ◎海堀 正博)	
研究課題	自然災害のリスクに関する総合科学的研究	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	教授 岩 永 誠	適応行動論 (行動科学的分析)
	○教授 山 崎 岳	環境化学 (環境科学的分析)
	教授 林 光 緒	認知行動論 (行動科学的分析)
	教授 坂 田 桐 子	集団心理学 (行動科学的分析)
環境科学部門	教授 海 堀 正 博	砂防学 (◎全体総括, 環境科学的分析)
	准教授 並 木 敦 子	地球ダイナミクス (環境科学的分析)
	准教授 横 山 正	環境鉱物学 (環境科学的分析)
	准教授 長谷川 祐 治	砂防工学 (環境科学的分析)
	准教授 田 口 健	高分子物理学 (物質構造的分析)
	准教授 匹 田 篤	地域情報論 (地域情報学的分析)
文明科学部門	教授 吉 村 慎太郎	文明共存論 (文明科学的分析)
	教授 布 川 弘	日本地域研究 (歴史社会学的分析)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	資源エネルギー研究 (代表者: ◎小野寺 真一)	
研究課題	多様な資源・エネルギー問題とその安全保障に関する総合科学的研究	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	教授 石 田 敦 彦	生化学 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
	○教授 山 崎 岳	生化学 (生命資源)
	○教授 斎 藤 祐見子	生命科学 (生命資源)
	教授 坂 田 省 吾	行動科学 (生命資源)
	○准教授 佐 藤 明 子	生命科学・遺伝学 (生命資源・遺伝子資源)
	○准教授 根 平 達 夫	構造有機化学 (生命資源)
環境科学部門	教授 浴 野 稔 一	物性物理学 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
	教授 戸 田 昭 彦	ソフトマテリアル物理 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
	教授 浅 野 敏 久	人文地理学・環境社会学 (水資源, 生態系資源, 観光資源)
	教授 小野寺 真 一	環境地形学 (◎全体総括, 水資源・鉱物資源)
	○教授 久 我 ゆかり	共生微生物学 (遺伝子資源)
	教授 荻 田 典 男	物性物理学 (エネルギー利用)
	○教授 山 田 俊 弘	森林生態学・種生態学 (生態系資源)
	准教授 李 東 碩	世界経済体制論・環境経済論 (エネルギー資源)
	准教授 小 澤 久	大気科学 (水資源)
	○准教授 ガルヌガ 真澄美	ソフト界面の熱力学 (エネルギー輸送に係る物質の基礎研究)
文明科学部門	教授 市 川 浩	現代科学・技術史 (エネルギー資源)
	准教授 崔 真 碩	朝鮮文化論 (エネルギー資源)

(注) ○印の教員は、2019年4月から統合生命科学研究科担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

総合科学研究プロジェクト

2019年3月1日現在（2019年3月退職予定者を除く。）

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	要素－システム研究（代表者：◎田中 晋平）	
研究課題	要素とシステムの相互作用 ー原子と物質・分子と生命・生物と生態系・個人と社会ー 循環する関係性	
部 門	氏 名	専 門 分 野（研究計画における教育研究分担）
人間科学部門	○教授 山 崎 岳	生化学（生体分子の物性と機能）
	教授 石 田 敦 彦	生化学（酵素機能と細胞情報伝達）
	○教授 斎 藤 祐見子	分子薬理学（グリア細胞を介した脳内炎症機構の解明）
	教授 長谷川 博	運動生理学（体温調節機構における脳内神経伝達物質の役割の解明）
	○准教授 根 平 達 夫	有機化学（分子構造と分子機能）
	○准教授 彦 坂 暁	生命科学・進化学（異質な要素の融合（共生）による生物進化）
	准教授 町 田 章	認知言語学（言語構造）
環境科学部門	教授 乾 雅 祝	金属・半導体物性（液体金属のX線散乱実験）
	○教授 山 田 俊 弘	生態学（生態系現象・実験）
	准教授 田 中 晋 平	コロイド物理（◎全体総括，人工生命現象・実験）
	○准教授 ガルスガ 真澄美	界面物理化学（自己組織化現象と界面現象）
	准教授 小 澤 久	地球科学（非平衡現象・理論的考察）
文明科学部門	准教授 長 坂 格	文化人類学（個人と社会の関係性）

（注）○印の教員は、2019年4月から統合生命科学研究科担当教員となるため、本研究科の指導教員として志望することはできません。

平和科学研究プロジェクト

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	ヒロシマの形成（代表者：◎水羽 信男）	
研究課題	「ヒロシマ」という概念の形成とその多様性	
部 門	氏 名	専 門 分 野（研究計画における教育研究分担）
人間科学部門	教授 岩 永 誠	人間行動学（復興の行動学的研究）
	教授 坂 田 桐 子	社会行動論（復興の社会心理研究）
環境科学部門	准教授 佐々木 宏	社会学（復興の社会学的研究）
	准教授 匹 田 篤	情報学（復興の情報学的研究）
文明科学部門	教授 布 川 弘	日本史学（復興の都市史的研究）
	教授 高 谷 紀 夫	文化人類学（復興の宗教人類学的研究）
	教授 吉 村 慎太郎	文明共存論（復興の比較史的研究）
	教授 青 木 利 夫	教育社会学（復興に関する教育社会学的研究）
	教授 丸 田 孝 志	中国近現代史（復興の歴史学的研究）
	教授 水 羽 信 男	東洋史学（◎全体総括，復興の歴史学的研究）
	教授 長 田 浩 彰	西洋史学（復興の歴史学的研究）
	准教授 長 坂 格	文化人類学（復興の社会人類学的研究）
	准教授 的 場 いづみ	アメリカ文学（復興の社会史的研究）
講 師 河 合 信 晴	西洋史学（復興の歴史学的研究）	

21世紀科学プロジェクト群担当教員一覧表

平和科学研究プロジェクト

2019年3月1日現在(2019年3月退職予定者を除く。)

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	環境平和学 (代表者: ◎杉木 恒彦)	
研究課題	環境平和学の構築－人間と環境の相互関係に関する総合的考察－	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	准教授 眞 嶋 俊 造	倫理学 (戦争倫理学)
	准教授 宮 園 健 吾	哲学 (貧困・暴力・環境・平和の関連についての哲学的考察)
環境科学部門	教 授 小野寺 真 一	流域環境学, 持続可能共生研究 (流域 - 沿岸の自然と人間との共生を明らかにし, 環境問題に起因する貧困問題の軽減に寄与し平和基盤を創造する)
	○教 授 奥 田 敏 統	森林生態学 (森林と人間との共生研究からの平和研究)
	○教 授 山 田 俊 弘	森林生態学, 持続可能共生研究 (森林生態系と人間との共生を明らかにし, 環境問題に起因する貧困問題の軽減に寄与し平和基盤を創造する)
	准教授 小 澤 久	地球科学, 大気科学 (自然と人間の共生研究)
	准教授 福 田 恵	農村社会学 (農村環境研究)
文明科学部門	准教授 杉 木 恒 彦	宗教学, 平和学 (◎全体総括, 宗教と貧困・暴力・環境・平和の関連についての事例・理論研究)
	准教授 三 村 太 郎	イスラーム科学史 (科学史の観点からの環境理解研究)
	准教授 長 坂 格	文化人類学 (文化人類学の観点からの環境平和研究)

(注) ○印の教員は, 2019年4月から統合生命科学研究科担当教員となるため, 本研究科の指導教員として志望することはできません。

教育研究組織名 (プロジェクトチーム名)	ヒロシマ韓国学 (代表者: ◎李 東碩)	
研究課題	ヒロシマ非正規・移住労働者の生存権確保のための労働組合・医療生協・自治体の日韓連帯	
部 門	氏 名	専 門 分 野 (研究計画における教育研究分担)
人間科学部門	教 授 桑 島 秀 樹	美学・表象文化論 (多文化共生の東アジア連帯研究)
環境科学部門	准教授 李 東 碩	世界開発問題 (◎全体総括, IT・製造業労働組合の日韓連帯研究)
	准教授 河 本 尚 枝	在日外国人問題 (多文化共生の東アジア連帯研究)
文明科学部門	教 授 荒 見 泰 史	漢字圏の文化交流 (多文化共生の東アジア連帯研究)